





展覧会 info

白寅恵 長澤美奈子展  
5月17日(火)～29日(日)  
11:00～19:00 (最終日～17:00)  
月曜休館

<流れる>という作品は船で波のしぶきを観ながら海を渡る瞬間瞬間の場面を流れる時間ながら空間を隠喩的に表現したものです。また私の作品を鑑賞する観覧者も作品を見て左側から右側、右側から左に移動しながら観覧することができて観覧者と一緒呼吸すれば良いと願っています。白寅恵と願っています。ヒタヒタと濡れた側溝に毎日通る道沿いの、生き生きとした苔が生えているのを見つけました。風化した表面、削れた角、生えた苔が、その側溝の持つ記憶を感じることができました。そして「側溝の一枚一枚の様に、私自身の一歩一歩を踏み締めて歩いて行く」と、その先にはきつと私の苔が生えているんだろ」と、思えたのです。同じように感じる日々にも確かな意味があるという事を、私はその側溝によって気付かされました。側溝の一枚一枚、私の一歩を重ねる様に作品を制作しました。長澤美奈子

加藤肇司展  
5月31日(火)～6月12日(日)  
11:00～19:00 (最終日～17:00)  
月曜休館 第1展示室

闇に触れる  
最近、突然作品の中に闇が現れてきて、驚いています。黒に近いグレーを水で薄めて何度も塗り重ねているうちに、暗い色面が闇に変化するのです。闇に触れていると、懐かしい気分とともに、僕の中の眠っていたある感覚が甦ってくるのです。加藤肇司

ノモトヒロシ展  
5月31日(火)～6月12日(日)  
11:00～19:00 (最終日～17:00)  
月曜休館 第3展示室

こんな夢を見た。「なつかしい友人達に囲まれ、自分は線のオブジェを作りながら話をしている。だんだん熱くなり、白いシャツの袖をまくっていると、友人が腕をつかんで教えようとしてくる。何故か友の身体は無く、腕だけが見える。その白い腕に緑の葉の文様が微かに描かれていた。線のオブジェははだいに大きく変形しながらようやく完成した。」それは中心(自己)から押し出された殻。それは中心の内と外の境界となる生の気配かもしれない。ノモトヒロシ

編集後記

一月三日、私は東北三陸海岸の海に立って、穏やかな海がどこまでも広がっていると夕日の美しかった。ひよっこりひよっかん島、モデルといわれる島がはっかそののわずか2カ月後、その海辺の町はずもな。松井さんは一年前、念願をかなえ郷里に帰った。海辺のこの町で、これから新しい人生を、と夢を友人たちも全て流された。それでも松井さんはケーキを作り続けている。みんなを食べてもらいたい。須藤紀子

この度の東日本大震災に於きまして、被災された皆様、また関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げます。あの日、宮城県にいる私の親戚たちも地震と大津波に襲われ、全員の安否が不明となり必死に探し続けて10日ほど経った頃にやっと全員無事だという事が確認出来ました。

しかし、町は壊滅的で少しずつ復旧してきてはいますが、依然として厳しい状況が続いていると聞きます。震災後、被災地の親戚と電話をする事ができ、何とか助けたい一心で話をすると、「そちらも大変でしょう。こちらはみんなで協力して何とかしているんで安心して。」「大丈夫、そちらで普通に生活して。」などと言われ、被災地にはない私には考えられないほど大変な状況であるにも関わらず、遠方の私たちの事を気遣う親戚たちの言葉に涙が止まりませんでした。

私はみんなを助けたいと思いながら、そんな親戚たちの優しい言葉に不安と心配でたまらない自分の気持ちを助けてもらっていました。

これまで自分の生活や作家活動に於いてたくさんの方々に支えられているのだと思っていましたが、今回これほどまでに強くその事を感じた事はありません。

私も何かの役に立ちたい、自分に出来る事は何なのか、まだ被災地の親族にすら少しの物資しか送れない自分が情けなくなる事もあります。今自分に出来る事は不安や噂に流される事なく冷静に、そして被災した方々を思いながら謙虚に生活する事だと考えています。その中で、自分に出来る支援のあり方を見つけ行動していく事だと思っています。

「がんばれ東北!がんばれ日本!」私もこの言葉に賛同し、震災で亡くなられた方々のご冥福を祈りながら、微力ながら人として芸術家として役に立てよう努めていきたいと思えます。

今もまだ余震や放射性物質への不安が続いていますが、一刻も早く穏やかな日々を皆様が過ごせる日が訪れる事を切に願っています。

お知らせ info

第5回 丹沢アートフェスティバル  
4月29日(金)～5月31日(火)  
秦野市を中心に周辺のギャラリーなどでアート作品を展示  
すどう美術館も参加します。  
<http://0463.tv/tangei/>



サブリ  
2011年5月10日  
丹沢アートフェスティバル  
展示作品

第2回 小田原もあ展  
・6月2日(木)～5日(日) 10:00～17:00  
すどう美術館の現代アートと伝統工芸品のコラボレーション展示  
ツノダ画廊(小田原銀座通り)  
・6月4日(土)、5日(日) 10:00～17:00  
すどう美術館のワークショップ みんなで創るアート「つながる」  
倭紙茶舗「江嶋」前(小田原銀座通り)

げんき芸術活動チャリティ展(仮称)ご協力をお願い

『何かアートで自分にできることはないかと思っています』という声があの日以来たくさん寄せられています。いてもたってもいられない気持ちは誰でも同じだと思います。巻頭文でお知らせしたとおり下記のようにチャリティ展を開催します。ご協力よろしくお願ひします。

本基金は、げんき芸術活動基金(仮称)という名称にします  
芸術活動を通して被災地に元気を届けていきます

記

すどう美術館 2011年6月14日(火)～20日(日)  
ギャラリー無有齋 2011年7月29日(金)～8月7日(日)

ご協力いただける作家の皆さま

- ・作品を1点ご提供お願いします。作品の大小、手法等は問いません。
- ・6月12日迄にすどう美術館に届くようお願いします。(受け付けは5月15日より)
- ・販売価格についてはすどう美術館にお任せいただきます。支援金と言うことを考慮して価格を決めさせていただきます。
- ・6月のすどう美術館でのチャリティ展終了後、8月のギャラリー無有齋のチャリティ展に巡回します。その後も機会を作りチャリティ展を開催していきます。ご提供いただいた作品は返却できませんが被災地に展示し作品を寄贈することも考えています。
- ・収益は全額げんき芸術活動基金(仮称)に加算します。

チャリティ展は1週間です。ぜひ多くの皆さまのご来館をお待ちしています。

・初日の6月14日(火)は無有齋で演奏したメンバーを中心にチャリティコンサートも開催します。(詳細は後日お知らせします)

※ご不明の件がございましたらお問い合わせください